

磐城時報

日 四
印刷所 加納活版所
印刷所 加納活版所
発行所 磐城時報社
廣告料 一行十二字五十五銭
日刊 日曜祝祭日翌日休刊

水産加工品を

四月から縣で検査

小名濱、四倉、江名に
検査員を常置

年額一千万圓を突破し本縣産物は縣廳内に置き専任の重要産業の尤なるものとし技手及び主事補各一名づつで非常な躍進を示してを置く外水産課員を兼任せざる水産關係中製造高三百しめ縣下の出張所を小名濱、四倉、江名、魚肥及び江名、四倉の三ヶ所へ常置の飼料飼養干水産各種種詰し検査員十二名うち三名常等に關しては來る四月から置九名を臨時として遺憾な縣産検査を開拓し本縣産品を検査を行はんとするもの聲價向上と販路擴張とに縣廳事務は四月早々開始するに當り、四月一日から實際の検査は來る當局で検査規定その他の準備になる等である。

湯本廻反對陳情

二日伊藤知事に提出
平小鐵道路線問題

平小鐵道通過地は未だ決定六名、磐崎村長大和田隆介、せす湯本廻り及び片濱通り、同村下船尾區長酒井政十、等關係地方民に氣を揉まし湯本町關船小久春太郎外四、てゐるが、二日湯本、玉川名等が署名捺印してあり、磐崎地方民から同地通過理由とするところは平小線反對、他方轉換方に盡力さの測量は縣道に沿ふて玉川、れたいと伊藤知事宛陳情書村地内を通過してゐるが、を提出した。同書には玉川、同縣道は自動車及び軌道を村大字住吉高萩新吾外七十の他の交通頻繁で事故を生

することから若し貨地測量の如く敷設するに於ては一層危険なるばかりでなく多くの肥沃なる田畑が潰地となるに加はつて路線の築造により生ずる水害及び耕作上の不便多大で地方農民の忍び得ないところ、疲弊困憊塗炭の苦境に沈淪せる部落民の微衷を察し他方へ轉換して貰ひたいといふにある。

平町の軍手 工業組合計劃

年額四十萬圓を目標
平町の特産品とする

平町商工會では年額七萬圓大野治(白河)宇佐神直人の生産額をあげてゐる軍手(夏井川)伏見文彦若松(一)諸氏の歡迎迎會は六日午後四時から平町長、平署であつたが來る三月十日の長等發起で六日午後四時から住吉屋本店で開く。

豫算町會 六日開會か

平町十二年度豫算の委員會は四日から開いたが、學校費を除いた外はスラックと審議を終了し今日四日中か遅くも五日中には終了する筈で、決算委員會も四日中に決定する由であるから本會議は六日開かれる事にならう。

合併決議 海岸軌道

小名濱町磐城海岸軌道會社では重役會で日本曹達會社と正式に合併する事を決議した。

名所「平の櫻」 早くも宣傳準備

地方名勝をも紹介

平町は名所「平の櫻」宣傳の準備にかゝつた。今年には松ヶ岡公園あづま屋を三百圓で建替える外平商工會、平町役場、平驛等で平觀光協會を四月迄に結成し赤井嶽、常磐炭礦、白水阿彌陀堂等を廣く紹介する計劃である。

苗代打合會 軍事講演會

軍事講演會

苗代町は十日の第三十二回陸軍記念日に際し平町では既報の如く時局講演會、映画會を催すが、石城女子青年會、小名濱町在郷軍人分會、磐城中學校でも聯隊區司令部に講師の派遣を求め、同様に軍事講演會を開くべく準備を進めてゐる。

忠魂碑に 玉垣寄附

四倉町軍支會長小港宗吉氏外百十六名、忠魂碑に玉垣を工費八百圓にて工事中の陸軍記念日を以て午前十時より奉納式を舉行する。

無錢飲食のコツク 平刑務所に收容

平刑務所に收容

平町三丁目カウエーグリンベツカス元コック石城郡飯野村南白土生れ前科三犯大福島縣土木監督所長に榮轉和田義光(三〇)は二日詐欺及び後任の板谷甚三郎氏(検査取調の後同刑務所に收容された。

私設郵便 平第二校の

平第二校の私設郵便

岸通り料亭越の家方に至り郵便局を呼び三十餘圓の無錢飲食をなし無一文で平署に突き出されたもの同人はまだ迷宮入を騒がれてゐる舊二日の初賣出し當日捨兒事件の發見者として登場した男で遊興が過ぎ去り五日ベツカスを解雇されたものである。

昨夜の雨 昨當り一石

昨夜の雨、昨當り一石

昨日午後五時から降り出した雨は午後九時頃から豪雨と化し神谷農事試験場の雨量計は昨當り一石一斗六升九合七勺で近來の豪雨であつた。

出炭減少 昨年比し

出炭減少、昨年比し

その發達高に於て最近頗り進歩の一途を辿つて來た常磐炭界は去る二十一日以降二十八日迄の間に於て全面的減少と云ふ稀有の現象を示した。尤も今年には昨春の雨と化し神谷農事試験場の雨量計は昨當り一石一斗六升九合七勺で近來の豪雨であつた。

山田の火事 山田

山田の火事

村大字井上七二製米業大井川四郎方製米小屋から三日午前零時頃火同建物を全焼して午前一時鐘火した。損害二百五十圓、原因は取灰の不始末。尚ほこの火災線に觸れ一時人事不省に陥つたが手當の結果蘇生した。

廣告 一男見習工

一男見習工、廣告

至急募集す、委細面談、加納活版所

廣告 一男見習工

一男見習工、廣告

至急募集す、委細面談、加納活版所

營業用 四、〇七五車

營業用、四、〇七五車

五〇、八〇一車、省用一六九車、一六、二八六車、合計六、五七〇車、七五、五三二車

減差營業用 八四四車

減差營業用、八四四車

四、五三八車、省用四八二車、三、八〇七車、合計一、三二六車、二八、四四五車

廣告 一男見習工

一男見習工、廣告

至急募集す、委細面談、加納活版所

三井タクシー

平町二丁目
電話六八五番

國華ポマード

皆様の美容室「理髮東京」は「オールサーピス」の満全を期し國華ポマードを初め全部高級化粧品を使用し行届いた技術と共に奉仕致して居ります。

帝都美容師會々員
東京國華會 理髮東京
チェン

魚清自慢のなべ料理

魚清食堂

| | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 鯛 | 鯛 | 鯛 | 鯛 | 鯛 | 鯛 | 鯛 | 鯛 | 鯛 | 鯛 |
| ちり | ちり | ちり | ちり | ちり | ちり | ちり | ちり | ちり | ちり |
| なべ | なべ | なべ | なべ | なべ | なべ | なべ | なべ | なべ | なべ |
| 五十 | 五十 | 五十 | 五十 | 五十 | 五十 | 五十 | 五十 | 五十 | 五十 |
| 十 | 十 | 十 | 十 | 十 | 十 | 十 | 十 | 十 | 十 |
| 銭 | 銭 | 銭 | 銭 | 銭 | 銭 | 銭 | 銭 | 銭 | 銭 |

電話六三三

職工募集

一、製罐工 五名
二、仕上工 五名
三、收入 日給一圓以上二圓迄 (食費當方持)

右至急募集シマス、希望の方、當所マテ御出デ下サイ

平町月見町
佐藤鐵工所
電話三六二番

石城中小商工互融會

太平火災海上保險株式會社中央代理店
事務所 福島縣平町榎小路一番地

小名濱方部 湯本方部
小名濱町古港 湯本町天王崎
菊田方部 相双方部
植田町臺町 原町東一番町

互融會事業近況

融通 昭和三十二年三月廿八日現在
報告 昭和三十二年三月廿八日現在
一、社會公共事業及慈善事業
二、精神修養談話會
三、會員ノ吉凶慶弔
四、會員相互見舞
五、人事相談及婚姻ノ媒介
六、診療救済ノ補償
七、税金ノ代納事務取扱
八、會報發刊
九、勤儉日報立金ノ獎勵
十、小資本金ノ相互融通

融通金 六、三四四口
世帯數 四、二六九口
積立金 五九、三八五・三一
融通數 一、四五七口
融通金額 八六、九五五・七
融通金回収率 三、四三八・五〇

是非 仙魚店

干やなぎの御注文は
いか切込

美味・体裁優美は
當店のモットーです

鮮魚仕出し
丸仙
電話六六一番

松村性科醫院

内科 胃腸病科
皮膚科 泌尿器科
性病科 花柳病科
性病科 泌尿器病科
皮膚科 肛門病科

平町南町
電話七一〇一

江尻醫院

皮膚科 泌尿器科
花柳病科
診療時間 午前八時ヨリ
午後九時マデ

平町田町(山内醫院跡)
電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎

木村病院

産婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内本宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄

平町新川町十九
電話一六四番

上田外科

平町南町
電話二一九番

高久病院

平町田町 (電話五一三番)
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄

内科 小兒科 外科 花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

木村外科醫院

平町六丁目
電話三〇九番

安齋醫院

内臓外科 院長 安齋徹
エックス光線
産婦人科 醫學士 黒澤廣

平町田町
電話四七五

吉田眼科醫院

平町紺屋町(電話六八番)